



モーグル選手を地域で支援

モーグルのトップ選手と契約結ぶ



左から上野、附田、星野、遠藤、大友の各選手

県や磐梯山周辺地域などで行く「スキーリゾートふくしま創造会議」は11月1日、バンクーバー五輪男子モーグル7位入賞の遠藤尚選手(忍建設スキー部)、附田雄剛選手、上野修選手、大友徹也選手、星野純子選手(共にチームリステル)の5選手とスポンサー契約を締結、町役場で記者会見を開きました。

契約料は1人当たり40万円で、各選手はウェアに世界選手権のロゴと「会津磐梯山 SKI」と書かれたワッペンを付けて競技に挑みます。各選手は、地域ぐるみの支援に感謝しながら「会津磐梯山エリアを世界に向けて発信したい」と意気込みを語りました。

盤上で繰り広げられる熱戦

学びいなで町民囲碁将棋大会開催



真剣な表情で勝負に挑む参加者ら

第57回町民親善囲碁将棋大会は11月23日、学びいなで開かれ、約30人が参加して囲碁や将棋の腕を競い合いました。各部門の入賞者は次のとおりです(敬称略)。

- ▶囲碁の部一般A：①小川昭子 ②鈴木英明 ③渡部秀寿
- ▶囲碁の部一般B：①塩谷慶一 ②押田幸一 ③五十嵐弘
- ▶将棋の部一般A：①高畑初正 ②野矢雅仁 ③五十嵐信春
- ▶将棋の部一般B：①山内誠 ②国井正一
- ▶将棋の部中学生クラス：①加藤駿太
- ▶将棋の部小学生クラス：①鈴木琢朗 ②大堀佑騎 ③鈴木康之

町の教育振興のために寄付

猪苗代LCが創立45周年記念事業



町内3中学校にそれぞれテント1張りを寄贈しました

猪苗代ライオンズクラブ(宇月晴彦会長 以下猪苗代LC)と横浜ポートヒルライオンズクラブ(窪田章七会長)は、猪苗代LCの創立45周年記念事業の一環として、町内の土津神社周辺の歴史遺産を紹介する標識・案内板を町教育委員会に寄贈しました。

また、同クラブから町内3中学校にそれぞれテント1張りが寄贈されました。

10月26日、現地などで開催された贈呈式には、LC役員と土屋重憲町教育長らが出席。土屋教育長が「案内板などを有効に活用し、町の教育振興に役立てたい」と感謝を述べました。

チームワークで町の部2位

ふくしま駅伝猪苗代町チーム活躍

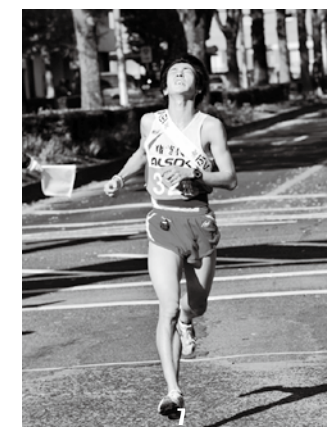


女子のエース区間、華の1区で区間4位と好走を見せた鈴木美姫選手

第22回市町村対抗県縦断駅伝競争大会(ふくしま駅伝)は11月21日、白河市総合運動公園陸上競技場から福島県庁までの16区間、96.2kmのコースで開かれました。

県内51チーム、816人が参加したこのレースで、猪苗代町チームは町の部2位、総合13位と過去最高タイとなる成績を上げました。全力を出し切り、全員でタスキをつないだ選手の頑張りを写真で紹介しします。

1_第2区の星竜選手 2_6区の半澤拓見選手が7区の川広選手の背中を押して応援 3_9.2kmの最長区間を走り抜いた10区の水上崇史選手から11区菅井彩瑛選手へ 4_8区小林嵩史選手から9区岩下郁美選手へリレー 5_15区古川紗帆選手の力走 6_町の部区間賞を獲得した13区五十嵐史朗選手から14区齋藤涼選手へ 7_最終16区は松崎政継選手 8_レース終了後ゴール前で記念写真 9_4区の高丸富男選手が順位を押し上げ5区の渡部司選手へ





猪苗代の伝統文化の継承へ

おシンさんの嫁入り保存会を設立



あいさつをする本間昌儀会長(中央)

町内の昭和初期の結婚式を再現する「おシンさんの嫁入り」。本年度の開催が見送られたこのイベントを保存継承しようと、町民有志が立ち上げた「おシンさんの嫁入り保存会」の設立総会が11月16日、学びいなかで開かれました。

約50人が参加した設立総会では、発起人代表の本間昌儀さんを保存会長に選出し、役員などを決定。町内の各小学校への啓発活動や6月11日のイベント開催などの事業計画を決定しました。

本間会長は「これからは町民がイベントを作っていく時代。皆さんの協力をお願いしたい」とあいさつしました。

シーズン中の無事故を祈願

猪苗代スキー場で安全祈願祭開催



関係者らが今シーズンの安全を祈願しました

猪苗代スキー場の安全祈願祭は12月2日、同スキー場「I・S・K」で開催されました。

祈願祭には町内の関係団体やスキー場関係者ら約50人が出席、玉ぐしをささげ今シーズンの安全と盛況を願いました。

神事後、佐々木真一猪苗代スキー場組合理事長が「スキー場を取り巻く環境が厳しいと言われてから久しいが、本年も共通パンフレットや観光商品券いなチケの発行などを後押しとして、多くのスキーヤー、スノーボーダーが来場してくれることを願う」とあいさつをしました。

児童虐待防止の理解深める

改善センターで健康講演会を開催



児童虐待の実態などについて語る安部主幹兼次長

町と町保健衛生連絡協議会が主催した健康講演会は11月27日、町農村環境改善センターで開かれました。

津金町長があいさつの後、今田かおる町保健衛生連絡協議会長が、講師を務める会津児童相談所主幹兼次長兼一時保護課長兼児童福祉司の安部郁子さんを紹介しました。

安部さんは、児童相談所の仕事について簡単に説明した後、実際に相談所に寄せられた児童虐待事例などについて話し、子どもを健やかに育てるための家庭や地域環境づくりの大切さを力説しました。

ヒシを使ってまちおこしを

町商工会女性部がヒシの料理学ぶ



湖岸から採取したヒシの調理に挑戦する女性部員ら

町商工会女性部(神トシ子部長)は11月11日、猪苗代湖の自然を守る会の鬼多見賢会長を講師に迎え、猪苗代湖北岸に繁殖するヒシの実を使い、まちおこしにつなげる勉強会を開きました。

参加した約10人の部員らは、湖岸に打ち上げられたヒシの実を採取した後、ゆでたり、いためたりして試食。「塩をまぶすとおいしい」などと話しながら、商品化の可能性を模索しました。

神部長は「腐敗したヒシは水質悪化の一因になる。ヒシを商品化し、町の特産品にできれば、水質の悪化も防げるのでは一」と話しました。

地域に愛される病院として

町立猪苗代病院でイベントを開催



町民と病院職員が交流を深めたイベントの様子

町立猪苗代病院の「ふれあいの日」イベントは12月2日、同病院で開かれ、町民らが病院職員らと楽しい時間を過ごしました。

「高齢者や地域の皆さんに病院を身近に感じてほしい」と話す渡部幸子総師長らが、血圧測定、口腔ケア、サプリメントの上手な使い方や薬の飲み方などの相談に応じたほか、腰痛やインフルエンザ予防に関する小冊子などを配布しました。

病院を訪れた町民らは、振る舞われたお茶やコーヒーを飲みながら、リラックスした表情で病院職員と話し、自分の健康管理などについて理解を深めました。

男たちが4品の料理に挑戦

男の料理教室で厨房がにぎわう



鮭のホイル焼きに挑戦する参加者ら

男の料理教室は12月1日、町農村環境改善センターで開かれ、20人の男性が参加して慣れない料理に挑みました。

食生活改善推進員9人が指導に当たり、鮭のホイル焼き、貝だくさんの味噌汁、ハウレン草和え、水菜とチーズのサラダなどの4品を作り、午後からは、紙芝居やメタボ予防の講話などで食と健康の関心に理解を深めました。

初めて参加した笠間一嘉さんは「何かを作るときは、いつも単品の簡単な料理。今日は4品ということで難しかったですが、達成感があります。次回も参加したいですね」と感想を述べました。